

令和2年度実施試験の主な変更点

1. 大学卒業程度採用試験(行政B(自己アピール型))の実施

- 教養試験・専門試験がなく、従来の公務員試験対策が必要ありません。
- 行政B(自己アピール型)の受験者は、6月28日に実施する大学卒業程度試験(全区分)を受験することができませんのでご注意ください。

試験科目・配点

区分	試験種目	配点
1次試験 (200点)	基礎能力試験(SPI3)	100
	自己アピール論文試験	100
2次試験 (600点)	集団討論試験	200
	面接試験①	100
	面接試験②	300
	適性検査	-

※最終合格決定は第2次試験の結果のみで判断

2. 高校卒業程度採用試験に「建築」区分追加

- A日程及びB日程に「建築」区分を追加します。
- A日程の受験者は、9月27日に実施するB日程(全区分)を受験することができませんのでご注意ください。

各試験の受験資格

	日程	受験資格	
A日程	1次試験:6月28日 2次試験:8月上旬 最終合格発表:8月下旬	18歳~21歳(採用時4月1日年齢) ただし、高校在学中の者は除く。	※いずれか一方のみ受験可
B日程	1次試験:9月27日 2次試験:10月下旬 最終合格発表:11月中旬	18歳~21歳(採用時4月1日年齢) ただし、A日程を受験した者は除く。	

3. 経験者採用試験における松江会場の廃止

- 10月18日に実施する経験者採用試験より松江会場を廃止します。
- 令和2年度試験からは広島県、東京都、大阪府で実施します。

令和3年度実施試験の変更予定

大学卒業程度採用試験(行政A)において専門試験の内容を変更します。

- 現行の「55題から20題の選択解答」を「40題必須解答」とする予定です。